

いつも当社システムをご利用いただきありがとうございます。
今月分の請求書をご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつも大変お世話になっております。

朝晩は随分とひんやりしてきて、秋の深まりを感じる今日この頃です。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

先月に引き続き「芸術の秋」を満喫しております。Instagram でアートイベントが全国各地で行われていることを知りました。六甲ミーツアート、瀬戸内国際芸術祭、あいち国際芸術祭、BIWAKO ビエンナーレ等々・・・、様々な催しが開かれているようです。まずは、近場の BIWAKO ビエンナーレを覗いてきました。

近場・・・といっても家から2時間弱かけて、近江八幡駅へ。駅の観光案内所でチケットを購入し開催マップをゲットしました！

会場は「旧市街地エリア」と「長命寺エリア」と「沖島エリア」の3つにわかれていて、展示数の多い「旧市街地エリア」には12か所の会場があります。まずは、マップの1番に記載されている「旧伴家住宅」へバスで向かいました。

近江八幡の古い街並みは、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されており、江戸末期から明治・大正期にかけて建てられた商家が保存され、風情ある街並みをたのしめます。古い家屋を利用したおしゃれな雑貨屋や飲食店、カフェ等も並んでいます。

「旧伴家」も元は商家で、明治時代には当時の八幡町に譲渡され、小学校、女学校として、戦後には図書館として利用されていたそうです。

部屋ごとに大きな作品が展示されていましたが、中でも庭に展示されていた奥中章さんの作品に惹かれました。バルーン状の作品の中にはゲル状のマットレスが敷かれていて、ごろりと寝転ぶとポワンポワンとした寝心地で、不思議な心地よさと虹色の光に包まれました。気持ちいいアート作品って、初めての体験です！！

ここへ来るきっかけになった小松宏誠さんの作品は、7番「カネ吉別邸」に展示されていました。中に入ると土間の梁からつるされた大きな羽状の作品がゆっくりと回転していました。外から入る光、古い家特有の空気感と相まって、特別な時間の中にいるような感覚でした。

奥の方へ進んでいくと蔵があって、そこに展示されていた赤松音呂さんの作品も印象的でした。土蔵の小さな窓から差し込む光に照らし出されたガラスの作品。小さな渦をまいている水が「シューシュー」と音を発して、ガラス管を通して蔵の中に小さく響き渡っていました。まるで、ガラスの中の生き物の呼吸音を聞いているようでした。SNS の写真を見ているだけではわからない素晴らしい体験でした。

結局、12か所の会場のうち、日牟禮八幡宮はロープウェイの最終時刻に間に合わず、11か所の会場をまわることができました。足も疲れたので、カフェで甘いものを補給しながらパンフレットを見返していると、見逃している作品がいくつかあり・・・何故か辿り着けなかった部屋があったようです。でも、たくさんのアートに触れ、想像以上に楽しい1日を過ごせました！

皆さまもどうぞ夏のお疲れがでませんように。秋の美味しいものを食べて、健やかに過ごしてくださいませ。



旧伴家住宅



古い街並みが続きます。



奥中章さんの作品



小松宏誠さん



赤松音呂さん

今月も最後までお読みいただき
ありがとうございました。
来月もよろしくお願いいたします。